

## iW Cove Powercore

アイダブリュー コーブ パワーコア

ユーザーガイド 12NC 910503700201(ミディアム)  
取扱説明書 910503700202(アシメトリック)

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。  
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

この度は iW Cove Powercore をお買い上げいただき誠に有難うございます。このユーザーガイドでは、iW Cove Powercore の操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。iW Cove Powercore を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

箱には以下のものが入っています。

- iW Cove Powercore 1本

また、本製品をご使用になるには、以下の製品が必要です。

- iW Data Enabler
- 専用リードケーブル 40FT (12m)
- 固定用ビス (#6 または M3.5) 4本
- 六角レンチ (2mm)
- フィリップス専用コントローラー (iW Scene Controller)

その他必要に応じてご用意いただくもの

- 専用ジャンパーケーブル 1FT (30cm)
- 専用ジャンパーケーブル 5FT (1.5m)
- 専用取付レール 4FT (1.2m)

## 1. はじめに

iW Cove Powercoreは、間接照明に最適な棒状の白色光 LED ライトです。専用コントローラーと組み合わせることで、光の色温度と輝度の制御が可能です。また、Powercoreを搭載しているため電力効率に優れ、長距離配線も可能なライトです。

### ◆ 1-1 ゾーンについて

iW Cove Powercoreは、ゾーンごとに光の輝度調整と色温度調整ができる白色光ライトです。ライトのコントロールには専用のコントローラー (iW Scene Controller) を用い、選択したゾーンのライトの輝度レベルと、ウォームからクールまでの色温度レベルを調整することが可能です。ゾーンの設定は、iW Data Enabler (データイネーブラー) に個別のゾーン番号を割り振ることで行います。(図1参照)  
各々のデータイネーブラーに接続されたライトはすべて、そのデータイネーブラー設定しているゾーンに属することになります。例えば、2台の iW Data Enabler を使用し、1台目にゾーン「1」、2台目にゾーン「2」を設定した場合、1台目の iW Data Enabler に接続されたすべてのライトはゾーン「1」、2台目の iW Data Enabler に接続された全てのライトはゾーン「2」となります。

iW Scene Controllerに設定可能なゾーンは合計4ゾーンでiW Data Enabler 内部のロータリースイッチ (図1参照)で設定します。

iW Scene Controllerを複数台使用することで最大15ゾーン設定できます。詳細はお問い合わせください。

### ◆ 1-2 器具の設置位置と制限について

iW Cove Powercore の配線距離や iW Data Enabler への接続可能台数には制限があります。製品を導入する際、必ず以下の点にご留意ください。

- iW Data Enabler には 40FT (12m) の専用リードケーブルを用い、iW Cove Powercore を1系統接続することができます。接続可能な本数は、灯具隣接の場合AC100V で43本、AC200V で70本までとなります。
- 接続可能な灯具数は、配線距離や使用する電圧、灯具間の距離 (ジャンパーケーブルを使用) などによって異なります。詳細はお問い合わせください。

### ◆ 1-3 iW Cove Powercore 設置の手順

- iW Data Enabler にゾーンの設定を行います。
- iW Scene Controllerにゾーン設定を行います。  
(詳細はiW Scene Controllerの取扱説明書をご覧ください。)
- iW Data Enabler の設置を行います。
- iW Cove Powercore の設置、配線を行います。
- iW Scene Controllerの設置、配線を行います。
- 最後に、iW Data Enabler の電源を入れます。

器具の設置・取り付けは、現場の状況に応じた適切な工具および部品を用い、確実に行ってください。

## 2. iW Data Enabler のゾーン設定

iW Data Enabler の設置に先立ち、ゾーンの設定を済ませておきます。ゾーンは後から変更することもできますが、その場合、電源を再度入れ直す必要があります。

- 全てのライトを同期させてコントロールしたい場合：  
全ての iW Data Enabler に同一のゾーン番号を設定します。
- ライトをゾーングループごとにコントロールしたい場合：  
各々の iW Data Enabler に個別のゾーン番号を設定します。

◆ 2-1 ゾーンの設定は、本体内部のロータリースイッチで行います。付属のマイナスドライバーで、設定したいゾーン番号にスイッチを合わせてください。「0」は使用できません。(図1参照)

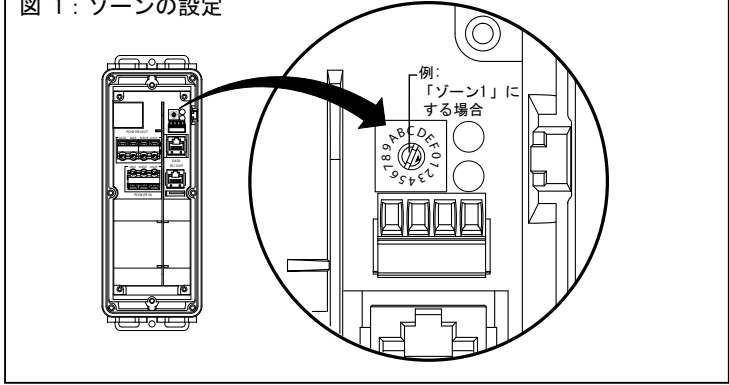
◆ 2-2 iW Data Enablerの設定したゾーン番号と同じ番号をiW Scene Controllerに設定してください。詳細はiW Scene Controllerの取扱説明書をご覧ください。

## 3. iW Data Enabler の設置

### 注意

- 設置および配線は、施工基準に従い専門の電気工事業者が行ってください。
- 通電状態で器具の接続や配線を行わないでください。

図 1：ゾーンの設定

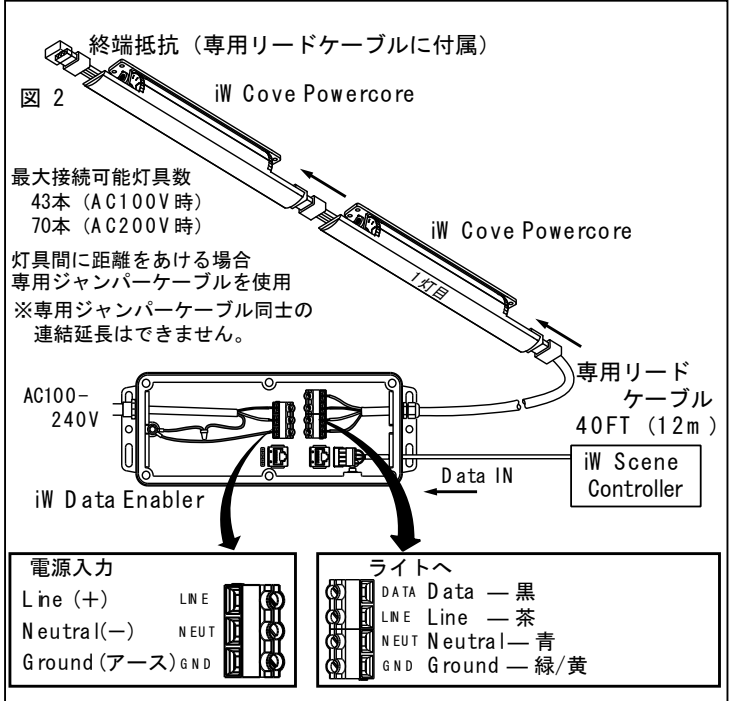


### ◆ 3-1 iW Cove Powercore と iW Data Enabler の配置

まず、iW Cove Powercore と iW Data Enabler の設置位置を決めます。使用電圧や電源から灯具までの配線距離によって1台の iW Data Enabler に接続可能な灯具本数が変わります。例えば、40FT (12m) の専用リードケーブルを用いて灯具を隣接接続した場合、AC100V で43本、AC 200V で70本となります。専用ジャンパーケーブルを使って灯具間に間隔をあけた場合は接続可能本数が異なります。なお、専用ジャンパーケーブル同士の連結延長はできません。詳細はお問い合わせください。また、複数のゾーンに分けてライトをコントロールする場合は、ゾーンごとに個別の iW Data Enabler が必要となります。

### ◆ 3-2 電源とデータの接続

※ iW Data Enabler の設置方法と配線方法の詳細については、iW Data Enabler の取扱説明書をご覧ください。(図2参照)



### 危険

本製品はAC電源駆動のため、通電状態での作業は危険です。設置・配線を完了するまでは、絶対に電源を入れないでください。

## 4. iW Cove Powercore の設置

### 危険

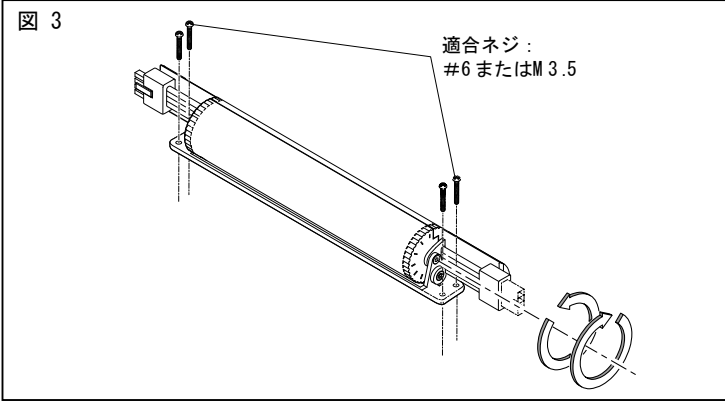
本製品はAC電源駆動のため、通電状態での作業は危険です。設置・配線を完了するまでは、絶対に電源を入れないでください。

iW Cove Powercoreは直列に接続します。灯具同士の接続は、本体両端にあるオス・メスコネクターで簡単に連結することができます。最も美しい光の効果を得るには、灯具間に間隔をあけず隣接させることをおすすめしますが、設置環境などにより灯具間に距離を保ちたい場合は、専用のジャンパーケーブルを利用することができます。なおコネクター部には曲げの余裕がありますので、灯具を隣接させた場合も、灯具間に1インチ (25mm) のスペースを確保することができます。曲線状の配置プランにも対応します。(図4参照)

灯具は設置面に直接固定するか、1.2mの専用取付レールを利用して設置することができます。

### ◆ 4-1 設置面に直接取り付けの場合

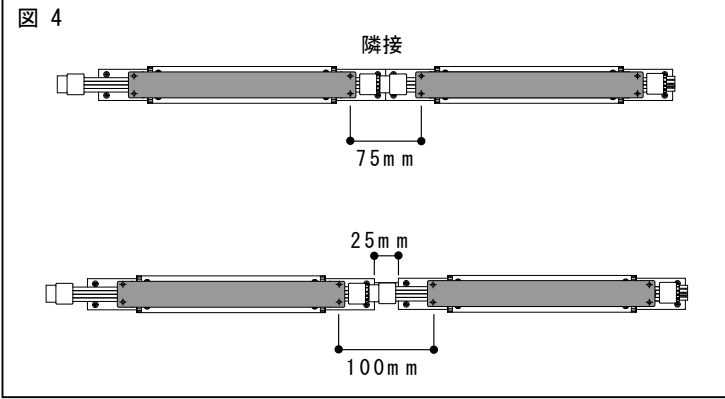
灯具を設置面に固定するには、取付ベース部にある4つの穴をビスなどで固定します。その際、灯具を傷つけずに無理なく工具を扱うことができるよう、iW Cove Powercore 本体照射面を左右いずれかの方向に90° 倒してください。固定ねじやビスは、設置面の材質に適したものを使ってください。(図3参照)



### 備考

事前に下穴をあけておく必要がある場合は、本体の取付ベース部をテンプレートがわりにして、下穴の位置を決めてください。

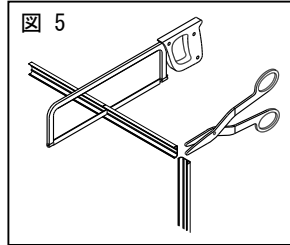
(図4参照)



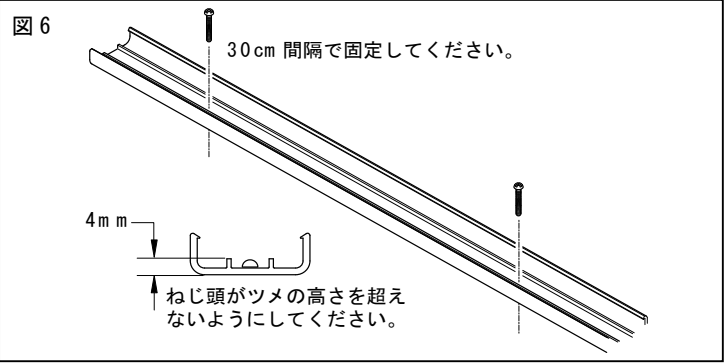
### ◆ 4-2 取付レールを使用する場合

別売の専用取付レール 4FT (1.2m) を使うと、簡単に灯具を一系列状に配置することができます。

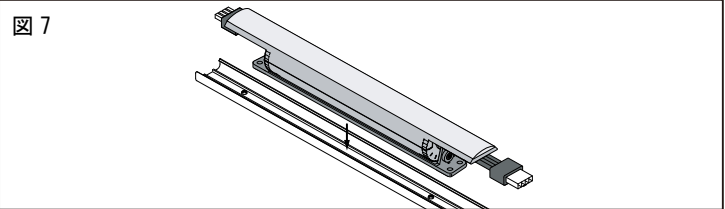
- 専用取付レールはプラスチック製ですので、適宜必要な長さにカットしてください。(図5参照)
- 設置面の材質に適したビスなどで、レールを固定してください。レール内部に iW Cove Powercore を安定させるためのツメがありますので、ビ



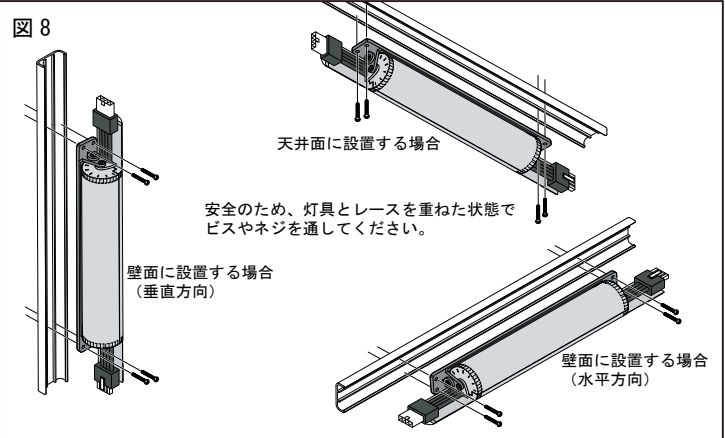
スやねじの頭がこのツメを超えることが無いよう注意してください。  
また、レールの固定は、少なくとも 30cm 間隔で行ってください。  
(図 6 参照)



- 床などの水平面に設置する場合は、まず専用取付レールを設置してから灯具をレールにはめ込んでいきます。(図 7 参照)



- 壁面や天井面に設置する場合は、専用取付レールを設置し、灯具をレールにはめ込んだ後、安全のため、さらに灯具本体の取付ベース部の穴を利用し、灯具とレールを重ねた状態でビスなどで固定してください。(図 8 参照)



#### 注 意

灯具を壁面や天井面に設置する場合は、安全のため、必ずビスなどを用いて灯具本体を設置面に固定してください。専用取付レールに灯具をはめ込むだけでは、灯具落下の危険があります。

## 5. iW Scene Controller の接続

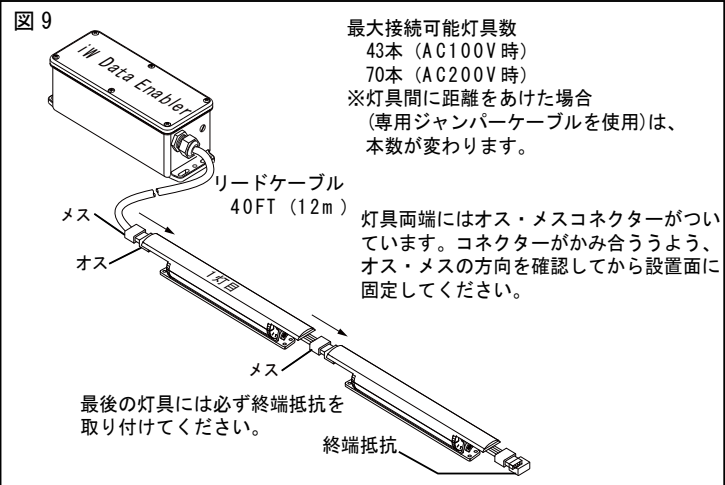
iW Cove Powercore は、iW シリーズ専用のコントローラー iW Scene Controller を使ってゾーンごとに光の色温度と輝度を変化させることができます。それぞれのライトは、接続している iW Data Enabler と同じゾーン番号に属します。

iW Data Enabler と iW Cove Powercore の設置、接続を終えたら、iW Scene Controller を設置します。  
iW Scene Controller には、背面に 4 芯 15m の専用ケーブルが付属していますので、そのケーブルのコネクター（着脱式端子台）を iW Data Enabler のコントローラー用端子に差し込みます。iW Scene Controller は 1 個用スイッチボックスに適合しますので、スイッチボックスを使って壁面などに取り付けることができます。iW Scene Controller

は iW Data Enabler から 15m 以内に設置してください。(付属ケーブルの延長はしないでください。)コントローラーの設置、設定の詳細については、iW Scene Controller の取扱説明書をご覧ください。

## 6. 配線の方法

- iW Cove Powercore は直列に接続します。設置面の材質に合わせ、#6 または M3.5 のビスまたはねじを 4 本用い、灯具を設置面に固定します。取付レールを使用するときは、灯具をそのままレールにはめ込んでください。このとき、灯具のオスコネクターがデータと電源ラインの受け側となりますので、オスコネクターが専用リードケーブルに接続されるよう、配置方向にご注意ください。(専用リードケーブルにはメスコネクターがついています。)(図 9 参照)

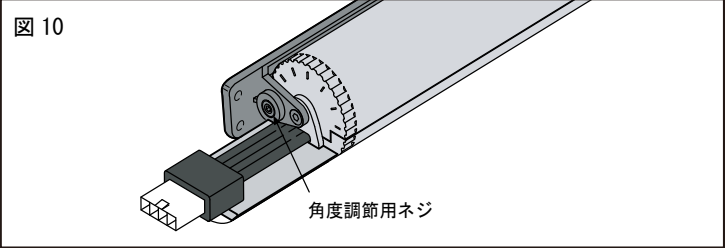


- オス・メスコネクターの方向を正しく合わせながら、灯具を 1 本ずつ順番に設置、固定していきます。コネクター部には曲げの余裕がありますので、最大 180°（左右それぞれ 90°）設置方向を調整できます。
- 同様に、オス・メスコネクターで灯具同士を接続しては灯具本体を設置面に固定していきます。最後の灯具には必ず終端抵抗を取り付けてください。
- 全ての灯具の接続と設置ができたら、最後に iW Data Enabler からのリードケーブルを先頭の灯具に接続します。このとき、電源はオフの状態で接続してください。安全のため、電源は必ず最後に入れてください。

## 7. 照射角度の調整

### ◆ 7-1 灯具の調整

ライトの照度角度調整は、灯具本体を回転させて行います。角度が決まって固定したい場合は、灯具両脇にある角度調整用のねじを締めてください。固定には、六角レンチを使ってください。(図 10 参照)

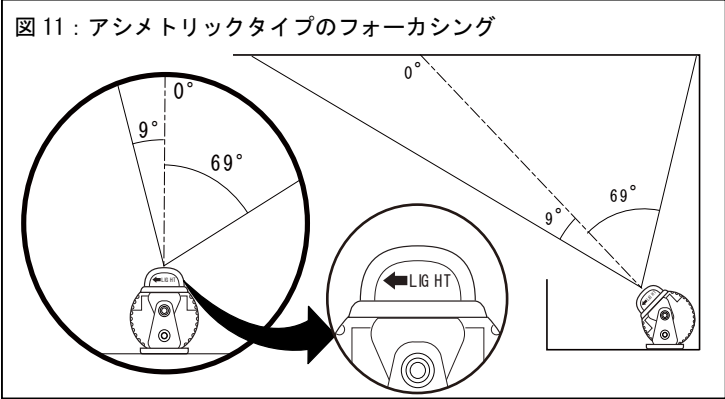


#### 注 意

角度調整用のねじは、固く締めすぎないでください。ねじの締めすぎは、製品故障の原因となります。

### ◆ 7-2 ライトの方向

メディアムタイプの場合、灯具の配置位置がライトの照射方向を決める重要なポイントとなります。  
アсиметリックタイプの場合は、光の配光が非対象ですので、灯具の設置方向に注意する必要があります。本体のメスコネクター側にライトの照射方向を示すラベル（◀LIGHT）が貼ってありますので、図 11 を参考に、このラベル表示に従ってライトを設置してください。光は、ラベルの矢印（◀LIGHT）の方向に伸びます。図 11 のように、例えばコーブスペース（くぼんだスペース）に設置する場合は、ラベルの矢印（◀LIGHT）がコーブスペース（くぼんだスペース）の外側を向くようにします。(図 11 参照)



## 8. 温度モニタリング機能について

温度の異常な上昇時の製品保護のため、iW Cove Powercore は温度モニタリング機能が備わっています。動作温度が危険なレベルにまで上昇した場合、保護回路が起動して iW Cove Powercore の動作を中止し、ウォーム系ホワイトの LED が暗く点灯します。電源を入れ直すか、30 分ほど経過し温度が下がるとライトは自動復帰しますが、再発防止のためには、温度上昇の原因をつきとめ問題を取り除いてから電源を入れてください。

ご使用中に何らかの問題が生じた場合は、直ちに製品の電源を切り、弊社までご連絡ください。

## 9. 定格・使用環境

・ 定格		
定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
AC100V-240V	0.15A-0.06A	15W 最大
・ 使用環境		
場所	温度	湿度
屋内	-5℃～35℃	0%～95% 結露なし

・ 注意		
iW Cove Powercore は LED の放射強度が高い製品です。光学機器を使って光源をみつめたり、正面から見ないでください。		

## 10. 安全上のご注意

### ◆ 器具のご使用について

#### 警 告

火災のおそれがあります

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 器具および部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属や燃えやすい物など）を差し込まないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 異常時（煙が出たり、変なにおいがする等）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

#### 注 意

- 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
- 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- 屋内用器具ですが、風呂場等の湿気の多い場所では使用できません。また屋外では使用しないでください。故障、事故の原因となります。
- 器具の表面に鋭利なものが当たらないよう、設置環境にご注意ください。
- 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
- 器具の着脱の際は、両手で静かに扱い、取付は確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。
- 安全に使用していただくために、器具を定期的に（6 ヶ月に一度程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。発火・火災の原因となることがあります。
- 当製品の使用可能条件の温度は-20℃～50℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、温度が35℃以上の高温下でご使用になりますと著しく寿命が短くなる原因となります。
- 当製品の保存可能条件の温度は-20℃～70℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、範囲外の温度での保存は短寿命または故障の原因となることがあります。

#### お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジンなどの揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる場所に、大切に保管してください。ご不明点がありましたら、販売店にご相談ください。

## 11. 保証について

本製品の保障期間はお買い上げ日より 3 年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きに従った正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換させていただきます。お買い上げの販売店もしくはフィリップスエレクトロニクスジャパンまでご連絡ください。(なお、特別に訪問を行った場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。

- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
- 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。
- 年間 4 0 0 0 時間以上の長時間使用の場合。